

PAM通信 コラム

2007年6月発行

＜第3回＞タイトル：川沿いを散歩してみると…。

最近、境川沿いの散歩にハマっています。境川は町田市と相模原市の境界に沿って流れている川で、町田駅前にあるヨドバシカメラの横を流れている川です。町田市相模原の大地沢キャンプ場付近に始まり相模湾の江ノ島付近で海に流れ込んでいます。その境川沿いを散歩していて気がつくのは川に沿って続く道は相模原市側より町田市側が舗装されていることです。これは行政の経済力の違いなのでしょう？その他に気がつくのは、川を境に相模原市と町田市がきれいに分かれているわけではなく入り組んだ境界があることです。そして何よりも川に生息する生き物がとても多いことに気がつきます。境川で出会った生き物を上げると、亀、スッポン、鯉、ナマズ、鴨、白鷺、ウグイス、クワガタムシ、ミミズ、ゴキブリ、モンシロチョウ、芋虫、トカゲ、名前のわからない花、実のなる木が多数、などです。思わぬ所で豊かな生態系に触れた気分です。あまりきれいとは言えない川に生きる多くの生き物たちに、野生のたくましさを感じさせられます。

よく見かけるミシシッピーアカミミガメはペットショップでミドリガメの名で売られている外来種の亀ですが、これが野生化して日本原産の亀を駆逐する勢いで繁殖しています。日本固有の生態系の保全という意味では問題のある繁殖ですが、野性の生き物としてのたくましさを感じます。彼らを見ていると自分も野性のたくましさを持って生きていたいと思ったりします。人間の複雑な社会系・生態系の中で政治や経済や身体的ハンディーなどの問題に押しつぶされることなく、自らの意思で尊厳を持ちながら生きていたいと思います。人間社会も大きな意味では地球の生態系の一部ですから、人間も野性生物の一種と言えるはずですし…。

野生の生き物を見ながらする散歩はとても気持ちいいですよ！